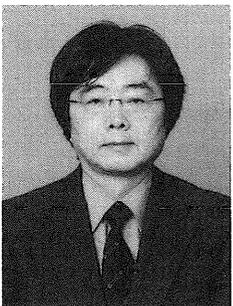


# 大学の宝物



松井 和則

(関東学院大学長)

## 一 はじめに

学長に就任して一年になろうとするが、自らの大学をよく理解しているのであらうか。問題点はひとまず置いて、建学の精神や理念と関連して大切にしなければならぬもの、大学の特色として誇るべきものは何であらうか。そのような観点から、関東学院大学自慢の宝物をまとめてみた。その一端を紹介したい。

## 二 タッピング・ポンド

ヘンリー・タッピングは一八九五年にアメリカ・バプテストより宣教師として派遣され、関東学院の源流のひとつである東京中院に赴任した。その後ヘンリー・タッピング夫妻は、一九〇八年から一九一九年まで盛岡に住んで東北各地での宣教活動に従事する。タッピング一家と宮沢賢治は親交があり、賢治は「岩手公園」と題する詩を書いた。「老いしタッピング」、「老いたるミセスタッピング」はタッピング夫妻のことであり、「大學生のタッピング」は息子のウィラードである。ウィラード・タッピングは戦前と戦後、関東学院で教え、戦後の学院の復興のために大きな貢献をしている。

そのウィラード・タッピングの妻で関東学院女子短期大学の教員であったエヴェリン・タッピングの寄附金をもとにタッピング家を記念して作られた防火用水がタッピング・ポンドだ。「TOPPING MEMORIAL POND 一九六三」と記された金属の銘板が付けられていた。二〇〇六年の新棟建築にともない、タッピング・ポンドは新たな憩いの水辺として生まれ変わっている。

## 三 シェイクスピア英語劇

関東学院の美しき伝統となっているシェイクスピア英語劇は、一九四八年に関東学院女子専門学校(女子短期大学の前身)相川高秋校長の提案で『ヴェニス商人』を上演したことに始まる。相川校長がシェイクスピアの英語劇にこだわったのは、シェイクスピアの作品が日本で初めて原語上演されたのが開港場もない横浜山手のゲーテ座であったこと、シェイクスピアの英語が現代の英語文化の根幹をなしており、学生たちに身をもって体験させることは意義あることであると考へてのことであった。その後、関東学院女子短期大学と関東学院大学の共催となり、さらに女子短期大学の人間環境学部への改組転換により、関東学院大学シェイクスピア英語劇実行委員会が組織されて現在まで引き継がれている。

これまでに上演された作品は『ハムレット』『夏の夜の夢』『ロミオとジュリエット』など一四戯曲になる。ドレス・リハーサルで女優の栗原小巻さんから賛辞をいただいたり、世界的に有名なイギリスの劇団、ロイヤル・シェイクスピア・カンパニーの演出家、ジョン・ケアード氏から公演祝辞をいただいたりしている。二〇〇五年一月に行われた第五四回公演では、横浜市・横浜市教育委員会・横浜市芸術文化振興財団・神奈川県新聞社・テレビ神奈川のほか、あらたにブリティッシュ・カウンシルの後援も得た。このように、シェイクスピア英語劇は各方面から高い評価を受けている。

## 四 大賀ハス

大賀一郎教授は、第一高等学校在学中に内村鑑三の主宰する「聖書研究会」に参加し、ここでの出会いで関東学院初代学長となる坂田祐と親交が始まる。一九五〇年に本学工学部教授に就任し、植物学概論を講義した。

当時の履修要項にこう記されている。

「植物の形態的なる細胞、組織、生理的なる代謝、生長、運動、寿命、遺伝等々、特殊植物ハスを中心として講じ、また植物と水、温度、光線等の生理、生態、作用について講ぜんとする。学生をして研究心を喚起せしめ、単なる講義よりも重点を独創的方面に進めんとす。」

一九五二年に千葉県検見川泥炭層出土の古ハスの開花に成功する。このハスはのちに「二千年ハス」あるいは「大賀ハス」と呼ばれるようになる。本学にもこの「大賀ハス」があったが、いつの間にかスイレンになっていた。どうやら「大賀ハス」が枯れてしまい、その代わりにスイレンを植えていたらしい。その謎を追跡した工学部の村山肇子教授が府中市の大賀ハス管理会議の先生から連根を譲り受け、「大賀ハス」が関東学院大学で再び花開いた。大賀博士の眠る多磨霊園の墓前には、坂田祐初代学院院长の筆による碑が建てられている。

ハスの花に 神の栄光を たたえて 大賀一郎兄 こゝに眠る  
復活のラッパの 鳴らんときまで 教友 八十八翁 坂田祐 記す

#### 五 関東ポエトリ・センター

関東ポエトリ・センターは一九六八年にWilliam I. Elliott教授が提唱して川村和夫教授が協力し、米国パプテスト同盟の財政的援助を得て、関東学院大学文学部を母体として発足した。センターの主な活動は八月に葉山で行われる合宿形式の夏期セミナーと年一回の詩誌『POETRY KANTO』の発行である。セミナーはこれまで谷川俊太郎、大岡信、金関寿夫、西脇順三郎、川崎洋、ねじめ正一、吉本隆明、岸田今日子、金子兜太、辻井喬などのそうそうたる各氏 Gary Snyder, William Stafford, Denise Levertov, W. S. Merwin など現代アメリカ詩の巨匠たち、オーストラリアを代表する詩人 Les Murray として最も忘れてならない人として、ノーベル文学賞を受賞する直前に招いたアイルランドの Seamus Heaney など日本や世界の第一線で活躍している著名な方々の参加を得て行われてきた。セミナーの柱は詩人自身による「ポエトリ・リーディング」である。この夏期セミナーを発展させて、二〇〇六年度から公開講座として「ポエトリ・リーディング」を開催している。関東ポエトリ・センターは、日本では唯一のポエトリ・センターとして国内外から高い評価を受けている。

#### 六 関東化成工業・関東学院大学表面工学研究所

関東学院工業専門学校の実習工場で研究された技術が事業化されて、一九六九年関東化成工業株式会社が設立された。現在資本金二億円、社員数三百数十名、関連会社四社の中堅企業へと成長を遂げている。同社は世界に先駆けプラスチックへのメッキ技術を開発し、自動車や電子材料等の部品を生産する企業として高い評価を受けている。まさに、現在各大学で推進されている大学発ベンチャーの先駆けである。二〇〇二年には、関東化成工業株式会社と関東学院大学で、有限会社関東学院大学表面工学研究所を設立した。さらに株式会社化して資本金を充実し、先端的な研究とその事業化を行う体制を立ち上げて、一層の発展を期しているところである。

#### 七 サービス・ラーニング

日本パプテスト同盟が派遣している大里英二(元関東学院六浦中学高等学校教師)・エミ宣教師夫妻の協力の下、タイ国チェンマイ山岳地区少数民族(カレン族)への国際ボランティア活動が続いている。山奥に点在する電気水道、ガスのない生活をしている集落の子どもたちが学校に通えるようにカレンパプテスト同盟のダウ牧師が建てた寮の運営のため、一九九四年から関東学院六浦小学校が援助活動を行ってきた。二〇〇三年度からは文学部比較文化学科のワールド・スタディーⅡという科目にもなった。また人間環境学部の国際交流プログラムでもタイに学生を派遣している。このように関東学院全体のサービス・ラーニングの取組になっている。これは本学院の校訓「人になれ 奉仕せよ」の校訓の実践ともいえる。

#### 八 歴史的に貴重な品々(関東学院大学図書館所蔵)

キリスト教関係資料…『和英語林集成』初版一八六七年(慶応三年) 平文編訳の日本最初の和英辞典、『宇太登不止』一八七六年(明治九年) ネイサン・ブラウンの編集による讚美歌の和訳と西洋音楽導入の歴史上貴重なパプテスト派初期讚美歌集、『志無也久世無志与』一八七九年(明治二年) ネイサン・ブラウン訳の日本最初の全訳新約聖書ほか。イギリス古典経済学・哲学文庫…J・ステュアート『経済学原理』(一七六七年)、A・

スミス『国富論』（一七七六年）、T・R・マルサス『人口論』（一七九八年）ほか。

封泥・紙が発明される以前の秦代から東漢にかけて使用された、簡牘かんけんという短冊状の通信用具を封緘した土塊片六〇点のコレクション。

## 九 大学を取り巻く人々

A君一家。二〇〇〇年に当時の宣教師デローフ夫妻が主宰するバイブル・クラスにA君が入会した。背が高くハンサムな若者であった。バイブル・クラスの夏合宿のとき、不幸にもA君は水泳中に心不全でなくなつた。

まだ一八歳であつた。A君の一家はクリスチャンではなかつたが、A君がキリスト教に強く惹かれていたことを思い、キリスト教の葬儀を行うことに決めた。A君の一家はそれから教会に通うようになり、家族でクリスチャンになった。さらにA君の父は四九歳で神学校に入学し、二〇〇五年四月には教会の牧師として歩みだした。

大学の近所の食堂のご主人。食堂のご主人はこれまで訪れた交換留学生たちの写真を残している。毎年留学生たちを鎌倉へ連れて行き、日本での親父さんとして親しまれている。

## 一〇 おわりに

ここでは全てを紹介できなかつたが実に多くの宝物があつた。掘り出し物もあつた。でも結局、青い鳥のお話のような結末ではあるが、人が宝であることに気づかされた。人財である。大学の宝となつたものはいずれもその時々の人々が、苦勞をして事を始め、努力をし、時間をかけてやがて実りを迎えたものがほとんどである。畢竟、次世代に宝物となるものの種を蒔いたり、芽を育てたりするのが学長の役割であらう。

素直でおおらかなダイヤモンドの原石のような学生たち、八万人を超える多士済々の卒業生たち、それぞれの職場で大学を愛し支える大学の教職員。もちろんこれらの人々も全て関東学院大学の宝物であり、これらの人々にとっては関東学院大学が宝物であらう。大学がみんなの宝物である限り、「我が大学は永久に不滅です」と確信している。